

4. 質問票（和文・西文）、質問票回答（和文）

（C/P 向け）

1. アンケート回答者

名前	
配属先/役職	
プロジェクト活動参加期間	

2. 実績の検証

2-1. 成果の達成度について X をつけてください。					
	成果 1	成果 2	成果 3	成果 4	成果 5
達成している					
プロジェクト終了時達成見込み					
達成できそうにない					
わからない					
2-1-1. 達成できそうにない成果がある場合、その理由を記載してください。					

2-2. 東部地域において地域コミュニティに裨益する官民連携による持続可能な観光開発の体制が構築されていると思いますか（プロジェクト目標の達成状況）？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
2-2-1. そう答えた理由を説明して下さい。	

3. 実施プロセス

3-1. プロジェクト活動は予定通り実施されていますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
3-1-1. プロジェクト活動を促進している要因があれば、記載してください。 「いいえ」の場合、活動内容と理由（阻害要因）を記載して下さい。	

3-2. プロジェクト関係者間のコミュニケーションはありましたか？2つ以上の解答が可能です。	
(1) 日本人専門家	コミュニケーション方法: 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>

(2) CORSATUR または CAT	コミュニケーション方法: 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>
(3) CDT	コミュニケーション方法: 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>

3-3. プロジェクトに対する関心と理解度のレベルに X をつけてください。					
	とても高い	高い	普通	低い	とても低い
理解度					
関心					

3-4. プロジェクト実施に影響した外部条件はありましたか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
3-4-1. 外部条件があった場合、その外部条件と効率的にプロジェクトを実施するために取った対策を記載して下さい。	

3a. 実施プロセス (パイロットプロジェクト)

3a-1. MITUR/CORSATUR 内のパイロットプロジェクト実施体制 (モニタリング体制含む) について説明してください。

3a-2. 担当しているパイロットプロジェクトはありますか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
3a-2-1. 「はい」の場合、以下の質問にお答えください。	
(1) プロジェクト名:	
(2) CORSATUR もしくは CAT ラウニオンとしてのプロジェクトにおける役割	
(3) これまでのプロジェクト活動内容を記載して下さい。	

(4) 現在実施中のプロジェクト活動を記載して下さい。

(5) 今後の活動予定を記載して下さい。

※ 複数のパイロットプロジェクトを担当している場合、パイロットプロジェクトごとに表を増やし、記載して下さい。

※ パイロットプロジェクトの進捗報告書がある場合はコピー等を添付することも可能です。

3a-3. パイロットプロジェクトに対する関心と理解度のレベルにXをつけてください。

	とても高い	高い	普通	低い	とても低い
理解度					
関心					

4. DAC5 項目

4-1. 妥当性

4-1-1. 東部地域において、観光開発のニーズがありますか? はい いいえ

そう答えた理由を説明して下さい。

4-1-2. MITUR/CORSATUR や観光委員会は観光開発の能力強化が必要ですか? はい いいえ

そう答えた理由を説明して下さい。

4-1-3. プロジェクトのアプローチは、観光開発能力強化のために適切だと思いますか? はい いいえ

そう答えた理由を説明して下さい。

4-2. 有効性

4-2-1. プロジェクト終了時にプロジェクト目標は達成すると思いますか? はい いいえ

「いいえ」の場合、達成を妨げている要因を記載してください。

4-2-2. 成果が産出された結果、プロジェクト目標が達成されると思いますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「いいえ」の場合、その理由を記載してください。	

4-2-3. プロジェクト目標達成の阻害要因または貢献要因はありますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、その要因を記載してください。	

4-3. 効率性

4-3-1. エルサルバドル側による投入は、成果を達成する上で適切だと思いますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
そう答えた理由を記載して下さい。	

4-3-2. プロジェクトによる投入は、成果を達成する上で適切だと思いますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>				
プロジェクトによって供与された機材の量と質に対する評価に X をつけてください。					
質					
とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	
量	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い
上記のように答えた理由を記載して下さい。					

日本人専門家の派遣に関する質問に X をつけてください。				
専門家の人数				
適切である	普通	適切でない	わからない	
派遣されている日数				
適切である	普通	適切でない	わからない	
専門家の専門分野				
適切である	普通	適切でない	わからない	
上記のように答えた理由を記載して下さい。				

--

4-4. インパクト

4-4-1. 将来、地域特有の資源を活かしたコミュニティツーリズムが確立されると 思いますか? (上位目標)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、この目標達成に向けた計画を記載して下さい。 「いいえ」の場合、その理由を記載して下さい。	

4-4-2. プロジェクトの実施により、上位目標以外の正負のインパクトはありました か?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
その事例を記載してください。	

4-4-3. プロジェクトの実施により、ジェンダー、民族、社会的階層で違うインパ クトが発生しましたか	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
その事例を記載してください。	

4-5. 自立発展性

4-5-1. MITUR、CORSATUR、CAT ラウニオンの体制について記載をしてください。
MITUR (1) 各部署の役割 (2) CORSATUR との連携実績
CORSATUR (1) 各部署の役割 (2) 地域にある CAT との連携実績 (3) CAT 向けの研修計画
CAT ラウニオン (1) 人員配置状況 (2) CORSATUR との連携実績 (3) CDT との連携実績

4-5-2. 財務状況に関する情報の記載をお願いします。				
	2009	2010	2011	2012
予算				
支出				

4-5-3. 観光委員会への支援は継続することはできるか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、具体的な支援体制を記載してください。	
「いいえ」の場合、弱点や改善点を記載してください。	

4-5-4. 観光委員会はプロジェクト活動を通して身につけた技術（PP や研修）を続けることができると思いますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、プロジェクトを通じて強化された点を記載してください。	
「いいえ」の場合、弱点や改善点を記載してください。	

4-5-5. 社会的弱者や環境への配慮不足により、持続性を妨げる可能性はありませんか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、その事例を記載してください。	

(CDT 向け)

1 CDT の活動について

2-1. プロジェクトにより実施された研修に参加したことはありますか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
2-1-1 「はい」の場合、以下の質問にお答えください。	
(1) 研修名 :	
(2) 参加したときの立場 : 研修員 <input type="checkbox"/> 研修コーディネート・進捗管理担当 <input type="checkbox"/> 「研修コーディネート・進捗管理担当」と答えた方は、その具体的な業務内容を記載して下さい。	
(3) 研修で習得したことは、現在の仕事に活かすことができているですか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 「はい」の場合、その具体例を記載してください。 「いいえ」の場合、その理由を記載してください	
(4) 研修に対するコメントがあれば、記載をお願いします。	

2-2. CDT による定期会議を実施しているか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>								
2-2-1 「はい」の場合、以下の質問にお答えください。									
(1) 頻度									
<table border="1"><thead><tr><th>毎週</th><th>月 2 回以上</th><th>月 1 回</th><th>それ以下</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		毎週	月 2 回以上	月 1 回	それ以下				
毎週	月 2 回以上	月 1 回	それ以下						
(2) CDT メンバー以外の参加者はいますか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>									
(3) 議事録は取っていますか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>									
2-2-2 「いいえ」の場合、その理由をお答えください									

2-3. CORSATUR からの支援や協力はありますか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
CAT ラウニオンからの支援や協力はありますか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
2-3-1 「はい」の場合、その具体例を記載してください。	
2-4. CORSATUR との定期会議を実施しているか?	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
2-4-1 「はい」の場合、以下の質問にお答えください。	

(1) これまでに実施した回数・日付

(2) CDTメンバー以外の参加者はいますか？ はい いいえ

(3) 議事録は取っていますか？ はい いいえ

2-4-2 「いいえ」の場合、その理由をお答えください。

2-4. 関係機関との情報共有は行なっていますか？ はい いいえ

2-3-1 「はい」の場合、以下の質問にお答えください。

(1) 情報共有を行なっている関係機関にXをつけてください。

市役所	NGO	観光業者	大学	その他

その他：

(2) 情報共有はどのように行なっていますか？

2-3-2 「いいえ」の場合、その理由をお答えください。

2-5. パイロットプロジェクトを実施していますか？ はい いいえ

2-5-1 「はい」の場合、以下の質問にお答えください。

(6) プロジェクト名：

(7) CDTメンバーのプロジェクトでの役割（誰が、何の業務を担当しているか）：

(8) CDTメンバー以外の協力者はいますか？ はい いいえ
「はい」の場合、協力者の人数と所属を記載して下さい。

(9) これまでの活動内容を記載して下さい。

(10) 現在実施中の活動を記載して下さい。

(11) 今後の活動予定を記載して下さい。

※ パイロットプロジェクトを複数実施している CDT は、パイロットプロジェクトごとに表を増やし、記載して下さい。

※ プロジェクトメンバーのリストや進捗報告書がある場合はコピー等を添付することも可能です。

5. 実施のプロセス

3-1. プロジェクト関係者間のコミュニケーション（報告、連絡、情報共有、相談など）はありましたか？2つ以上の解答が可能です。

(3) 日本人専門家	コミュニケーション方法: <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: <input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>
(4) CORSATUR	コミュニケーション方法: <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: <input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>
(5) CAT ラウニオン	コミュニケーション方法: <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: <input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>
(6) 他 CDT	コミュニケーション方法: <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 個別によるコミュニケーション <input type="checkbox"/> 頻度: <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> コミュニケーションについて: <input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> とても悪い <input type="checkbox"/>

3-2. プロジェクトに対する関心と理解度のレベルに X をつけてください。

	とても高い	高い	普通	低い	とても低い
理解度					
関心					

6. DAC5 項目

4-1. あなたの CDT 地域において、観光開発のニーズがありますか? はい いいえ

そう答えた理由を説明して下さい。

4-2. 東部地域において地域コミュニティに裨益する官民連携による持続可能な観光開 はい いいえ

発の体制が構築されていると思いますか（プロジェクト目標の達成状況）？	
2-2-1. そう答えた理由を説明して下さい。	

4-2. プロジェクトの実施により、正負のインパクトはありましたか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
その事例を記載してください。	

4-3. ジェンダー、民族、社会的階層の違いによる異なったインパクトが生じたか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「いいえ」の場合、弱点や改善点を記載してください。	

4-4. 観光委員会はプロジェクト活動を通して身につけた技術（PP や研修）を続けることができると思いますか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、プロジェクトを通じて強化された点を記載してください。	
「いいえ」の場合、弱点や改善点を記載してください。	

4-5. 社会的弱者や環境への配慮不足により、持続性を妨げる可能性はありませんか？	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、その事例を記載してください。	

質問票（西文）

（CP 向け）

**Encuesta para la Evaluación Intermedia del Proyecto para
El Fortalecimiento de las Capacidades para el Desarrollo del Turismo Rural en la Región Oriental de El Salvador**

Apreciados Señores,

Se realizará la evaluación intermedia del Proyecto a partir del día de 11 de junio hasta el día 28 de junio. Dicha evaluación se llevará a cabo por JICA Rede Central en Japón y tiene tres objetivos siguientes:

- Confirmar los resultados de las actividades realizadas por el Proyecto hasta la fecha;
- Verificar el grado de alcance del objetivo del Proyecto y de sus resultados esperados de acuerdo con la PDM;
- Analizar el desempeño del Proyecto con base en los 5 criterios (relevancia, efectividad, eficiencia, impacto y sostenibilidad)

Agradecemos mucho si pudiera llenar esta encuesta. Los datos serán utilizados para el análisis de la evaluación intermedia.

1. Información de la persona que contesta la encuesta

Nombre	
Institución (a que pertenece)/ Cargo actual	
Periodo de participación en las actividades del Proyecto (Favor de indicar con fecha)	

2. Verificación de Resultados

2-1. Marque con una X los logros de los resultados, por favor.					
	Resultado 1	Resultado 2	Resultado 3	Resultado 4	Resultado 5
Se ha cumplido					
Se cumplirá al final del Proyecto					
No se puede cumplir					
No sé					
2-1-1. Mencionen la razón por la cual no se podría cumplir los resultados del proyecto.					

2-2. ¿Considera que existe un mecanismo construido por la coordinación entre el sector público y privado, para el desarrollo turístico sustentable que beneficia la comunidad local en la región oriental? (Grado de cumplimiento del Objetivo del Proyecto)?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
---	---

2-2-1. Por favor, mencione la razón por la que dio esa respuesta.

--

3. Proceso de Implementación

3-1. ¿Se implementan las actividades del Proyecto tal como se hayan planeado? Sí No

3-1-1. Si hay algún factor que da impulso a las actividades del Proyecto, indíquelo por favor.
Si su respuesta es negativa, mencione las actividades suspendidas y/o con dificultades de avances y los motivos que originaron tal impedimento, por favor.

--

3-2. ¿Hay comunicación entre las personas involucradas en el Proyecto y otras Instituciones relacionadas? Por favor, entre las siguientes opciones de comunicación, seleccione una o más;

(1) Expertos Japoneses	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/> Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>
(2) CORSATUR o CAT La Unión	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/> Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>
(3) CDTs	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/> Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>

3-3. Marque con una **X** el nivel de conocimiento e interés sobre el Proyecto.

	Muy Alto	Alto	Regular	Bajo	Muy Bajo
Conocimiento					
Interés					

3-4. ¿Encuentran algunas condiciones externas e importantes en PDM que incidieron en el proceso de implementación del Proyecto? Sí No

3-4-1. De haber encontrado alguna condición externa, por favor, mencione las importantes en PDM y las medidas tomadas para la implementación efectiva del Proyecto.

--

--

3ª. Proceso de Implementación: Proyectos Pilotos (PPs) en la región oriental

3ª-1. Describa sobre el sistema de apoyo (incluyendo el mecanismo de monitoreo) a los PPs en MITUR/CORSATUR, por favor.

--

3ª-2. ¿Usted se encarga de algún Proyecto Piloto (PP)?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
--	---

3ª-2-1. Si su respuesta es positiva, conteste las preguntas siguientes, por favor.

(1) Nombre del PP :

(2) Rol de CORSATUR o CAT La Unión en el Proyecto

(3) Explique las actividades realizadas hasta el mes de mayo, por favor.

(4) Indique las actividades que se están implementando en junio, por favor.

(5) Explique el Plan de las actividades en el futuro, por favor.

* Si se encarga de más de dos Proyectos, se le solicita aumentar la tabla y dejar la descripción de cada PP.

**Si cuenta con un informe de avances del PP, podrá adjuntarlo al presente cuestionario.

3ª-3. Marque con una X el nivel de conocimiento e interés con respecto a los PPs.

	Muy Alto	Alto	Regular	Bajo	Muy Bajo
Conocimiento					
Interés					

4. Criterios de Evaluación (Cinco)

4-1. Pertinencia

4-1-1. Existen las necesidades de desarrollar el turismo en la zona oriental?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Explique la razón de su respuesta, por favor.	

4-1-2. ¿Necesitan los comités de turismo de MITUR/CORSATUR fortalecer las capacidades para el desarrollo del turismo?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Explique la razón de su respuesta, por favor.	

4-1-3. ¿Considera que el enfoque del Proyecto es adecuado para fortalecer la capacidad de desarrollo de turismo?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Explique su razón de acuerdo a la respuesta emitida, por favor.	

4-2. Eficacia

4-2-1. ¿Considera que el Proyecto cumplirá su Objetivo en su término?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Mencionen factor o factores que impiden el cumplimiento en el caso de que su respuesta fuera negativa.	

4-2-2. ¿Considera que el Objetivo del Proyecto se cumplirá, si se alcanza todos los resultados?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Si su respuesta es negativa, mencione la razón, por favor.	

4-2-3. ¿Encuentra algunos factores que obstruyeron y/o contribuyeron al cumplimiento del Objetivo del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Mencione sobre los factores de obstrucciones o contribuciones, si se encuentran.	

4-3. Eficiencia

4-3-1. ¿Son los aportes salvadoreños adecuados para lograr los resultados del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Mencione la razón por favor.	

4-3-2. ¿Considera que los aportes del Proyecto son adecuados para lograr los resultados del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>										
Marque con una X su apreciación respecto a nivel de calidad y cantidad de suministro de equipos, por favor.											
Calidad											
<table border="1"> <tr> <td>Muy Bueno</td> <td>Bueno</td> <td>Regular</td> <td>Malo</td> <td>Muy Malo</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Muy Bueno	Bueno	Regular	Malo	Muy Malo						
Muy Bueno	Bueno	Regular	Malo	Muy Malo							
Cantidad											
<table border="1"> <tr> <td>Muy Bueno</td> <td>Bueno</td> <td>Regular</td> <td>Malo</td> <td>Muy Malo</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Muy Bueno	Bueno	Regular	Malo	Muy Malo						
Muy Bueno	Bueno	Regular	Malo	Muy Malo							
Mencione la razón que respuesta, por favor.											
Marque con una X su apreciación respecto a envío de expertos japoneses, por favor.											
Número de expertos japonese											
<table border="1"> <tr> <td>Adecuado</td> <td>Regular</td> <td>No Adecuado</td> <td>No Sé</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Adecuado	Regular	No Adecuado	No Sé							
Adecuado	Regular	No Adecuado	No Sé								
Duración de envío en El Salvador											
<table border="1"> <tr> <td>Adecuado</td> <td>Regular</td> <td>No Adecuado</td> <td>No Sé</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Adecuado	Regular	No Adecuado	No Sé							
Adecuado	Regular	No Adecuado	No Sé								
Especialidad de expertos japoneses											
<table border="1"> <tr> <td>Adecuado</td> <td>Regular</td> <td>No Adecuado</td> <td>No Sé</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Adecuado	Regular	No Adecuado	No Sé							
Adecuado	Regular	No Adecuado	No Sé								
Mencione la razón de su respuesta, por favor.											

4-4. Impacto

4-4-1. ¿Será desarrollado el turismo comunitario utilizando recursos y peculiaridades locales (Logro del Objetivo Superior)?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
En caso de que la respuesta sea positiva, explique el plan de actividades para lograr el objetivo. En caso de que la respuesta sea negativa, explique la razón.	

4-4-2. ¿Se encuentran algunos impactos positivos o negativos luego de la implementación del Proyecto, además de los mencionados anteriormente (Objetivo Superior del proyecto)?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Mencione los ejemplos encontrados.	

4-4-3. ¿Considera que hay efectos diferentes en cuanto a los aspectos de género, etnia , clase social a causa de la implementación del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
En caso de que la respuesta sea positiva, indique los efectos encontrados, por favor.	

4-5. Sostenibilidad

4-5-1. Mencione sobre MITUR, CORSATUR y CAT La Unión, por favor.
<p>MITUR</p> <p>(1) Rol de cada sección</p> <p>(2) Colaboración con CORSATUR</p>
<p>CORSATUR</p> <p>(1) Rol de cada sección</p> <p>(2) Colaboración con CAT local</p> <p>(3) Plan de capacitación para CAT</p>
<p>CAT La Unión</p> <p>(1) Designación del personnel</p> <p>(2) Colaboración con CORSATUR</p> <p>(3) Colaboración con CDTs</p>

4-5-2. Indique la situación financiera de su institución, por favor.				
	Año 2009	Año 2010	Año 2011	Año 2012
Presupuesto				
Gasto				

4-5-3. ¿Considera que MITUR/CORSATUR podrá continuar el apoyo a CDTs en la región oriental?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
En caso de que la respuesta sea positiva, indique el sistema (el mecanismo) de apoyo a CDTs en MITRU/CORSATUR.	
En caso de que la respuesta sea negativa, indique las debilidades y los factores que deben ser mejorados.	

4-5-4. ¿Considera que el CDT puede mantener la técnica (e.g. Proyectos Pilotos y capacitación) adquiridos a través del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
En caso de que la respuesta sea positiva, indique los puntos fortalecidos. En caso de que la respuesta sea negativa, indique las debilidades y los factores que deben ser mejorados.	

4-5-5. ¿Considera que hay alguna posibilidad de que se impida la sostenibilidad del Proyecto por falta de consideración en los grupos vulnerables (los pobres y las mujeres) o medio ambiente?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
En caso de que la respuesta sea “Sí” , indique los ejemplos.	

¡Muchas gracias por su cooperación!

(CDT 用)

**Encuesta para la Evaluación Intermedia del Proyecto para
El Fortalecimiento de las Capacidades para el Desarrollo del Turismo Rural en la Región Oriental de El Salvador**

Apreciados Señores,

Se realiza la evaluación intermedia del Proyecto del día de 11 de junio al día de 28 de junio. La evaluación intermedia que se realizará por JICA Rede Central en Japón tiene los tres objetivos siguientes:

- Confirmar los resultados de las actividades realizadas por el Proyecto hasta la fecha;
- Verificar el grado de alcance del objetivo del Proyecto y de sus resultados esperados de acuerdo con la PDM;
- Analizar el desempeño del Proyecto desde los 5 criterios (relevancia, efectividad, eficiencia, impacto y sostenibilidad)

Agradecemos mucho si pudiera llenar esta encuesta. Los datos serán utilizados para el análisis de la evaluación intermedia.

1. Información de la persona (quien contesta la encuesta)

Nombre	
CDT	
Período de participación en las actividades del Proyecto	

2. Las actividades de CDTs

2-1. ¿Han participado en los cursos de capacitación implementados por el Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
2-1-1. En caso de que la respuesta sea positiva, conteste las preguntas siguientes, por favor.	
(1) Nombre del curso de capacitación :	
(2) Participó como: Participante del curso <input type="checkbox"/> Coordinador(a) del curso de capacitación y/o administrador(a) del proceso <input type="checkbox"/> En caso de que la respuesta sea "Coordinador(a) del curso y/o administrador(a) del proceso, favor de anotar la descripción concreta de su trabajo.	
(3) ¿Está usted aprovechando en su trabajo actual lo que aprendió en el curso de capacitación? Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> Si su respuesta es "Sí", indique los ejemplos concretos por favor. Si su respuesta es "No", indique la razón, por favor.	
(4) Si tiene algún comentario sobre la capacitación, méncionelo, por favor.	

2-2. ¿Tiene su CDT las reuniones periódicas?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>								
2-2-1. Si su respuesta es positiva, conteste las preguntas siguientes, por favor.									
(1) Frecuencia									
<table border="1"> <tr> <td>Cada semana</td> <td>Más de dos veces al mes</td> <td>Una vez al mes</td> <td>Menos frecuente que una vez al mes</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	Cada semana	Más de dos veces al mes	Una vez al mes	Menos frecuente que una vez al mes					
Cada semana	Más de dos veces al mes	Una vez al mes	Menos frecuente que una vez al mes						
(2) ¿Tiene los participantes aparte del miembro del CDT? Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>									
(3) ¿Hay una minuta de cada reunión? Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>									
2-2-2. Si su respuesta es negativa, indique la razón por favor.									

2.3 ¿Recibe algún apoyo y/o cooperación de parte de la CORSATUR?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
¿ Recibe algún apoyo y/o cooperación de parte del CAT La Unión?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
2-3-1. Si su respuesta es positiva, por favor indique los ejemplos concretos del apoyo y/o cooperación.	
2-4. ¿Se celebran reuniones periódicas con el CORSATUR?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
2-4-1. Si su respuesta es positiva, conteste las preguntas siguientes, por favor.	
(1) Número de reuniones realizadas y las fechas correspondientes:	
(2) ¿Han participado algunas personas que no sean miembros del CDT? Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	
(3) ¿Hay una minuta de cada reunión? Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	
2-4-2. Si su respuesta es negativa, indique la razón por favor.	

2-5. ¿Comparte la información sobre el desarrollo turístico con las instituciones involucradas ?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>										
2-5-1. Si su respuesta es positiva, conteste las preguntas siguientes, por favor.											
(1) Ponga una X en las casillas debajo de las instituciones involucradas con las que se comparte la información.											
<table border="1"> <tr> <td>Municipalidad</td> <td>ONGs</td> <td>Agencias de turismo</td> <td>Universidad</td> <td>Otros</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	Municipalidad	ONGs	Agencias de turismo	Universidad	Otros						
Municipalidad	ONGs	Agencias de turismo	Universidad	Otros							
Otros:											

(2) ¿De qué manera comparte la información con ellos?
2-5-2. Si su respuesta es negativa, indique la razón por favor.

2-6. ¿Está implementando el Proyecto Piloto (PP)?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
2-6-1. Si su respuesta es positiva, conteste las preguntas siguientes, por favor.	
(3) Nombre del PP :	
(4) Rol de los miembros del CDT (Nombre de los encargados y sus tareas)	
(5) ¿Hay algún colaborador(a) para el PP, aparte de los miembros del CDT? Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> Si su respuesta es positiva, favor de contestar: ¿Cuántos colaboradores hay y a qué instituciones pertenecen?	
(6) Describa las actividades realizadas hasta el mes de mayo, por favor.	
(7) Indique las actividades implementadas en junio, por favor.	
(8) Describa el Plan de las actividades en el futuro, por favor.	

*Para aquellos CDTs que implementen más de dos PPs, se les solicita aumentar la tabla y dejar la descripción de cada PP.

**Si cuenta con un informe del PP y/o la lista de integrantes del PP, podrá adjuntarlos al presente cuestionario.

3. Proceso de Implementación

3-1. ¿Hay comunicaciones (reportes, contactos, intercambio de información y consultas) entre las personas/instituciones involucradas en el Proyecto? Por favor, seleccione una o más opciones siguientes;	
(1) Expertos Japoneses	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/> Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>
(2) CORSATUR	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/>

	Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>
(3) CAT La Unión	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/> Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>
(6) Otros CDTs	Método de la comunicación: Reuniones <input type="checkbox"/> Comunicación individual <input type="checkbox"/> Frecuencia de la comunicación: Siempre <input type="checkbox"/> A veces <input type="checkbox"/> Rara vez <input type="checkbox"/> Calidad de comunicación: Muy Buena <input type="checkbox"/> Buena <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> Mala <input type="checkbox"/> Muy Mala <input type="checkbox"/>

3-2. Marque con una X el nivel de conocimiento e interés sobre el Proyecto.					
	Muy Alto	Alto	Regular	Bajo	Muy Bajo
Conocimiento					
Interés					

4. Cinco Criterios de Evaluación

4-1. ¿Existen las necesidades de desarrollar el turismo en su área de CDT?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Por favor, explique el motivo de su respuesta.	

4-2. ¿Considera que existe un mecanismo construido por la coordinación entre el sector público y privado, para el desarrollo turístico sustentable que beneficia la comunidad local en la región oriental?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Indique la razón, por favor.	

4-3. ¿Se encuentran algunos impactos positivos o negativos luego de la implementación del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Mencione algunos ejemplos.	

4-4. ¿Se han generado efectos diferentes según el género, etnia , clase social durante la implementación del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
--	---

Si su respuesta es “no”, indique las debilidades y oportunidades de mejora, por favor.

4-5. ¿Considera que el CDT podrá mantener la técnica adquirida (e.g. Proyectos Pilotos y cursos de capacitación) a través del Proyecto?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
Si su respuesta es positiva, indique los puntos fortalecidos a través del Proyecto, por favor. Si su respuesta es negativa, indique los aspectos débiles así como la especialidad que se deben mejorar.	

4-6. ¿Considera que hay la posibilidad que impida la sostenibilidad del Proyecto por falta de consideración al grupo vulnerable (los pobres y las mujeres) o medio ambiente?	Sí <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>
indique los ejemplos de falta de consideración.	

¡Muchas gracias por su cooperación!

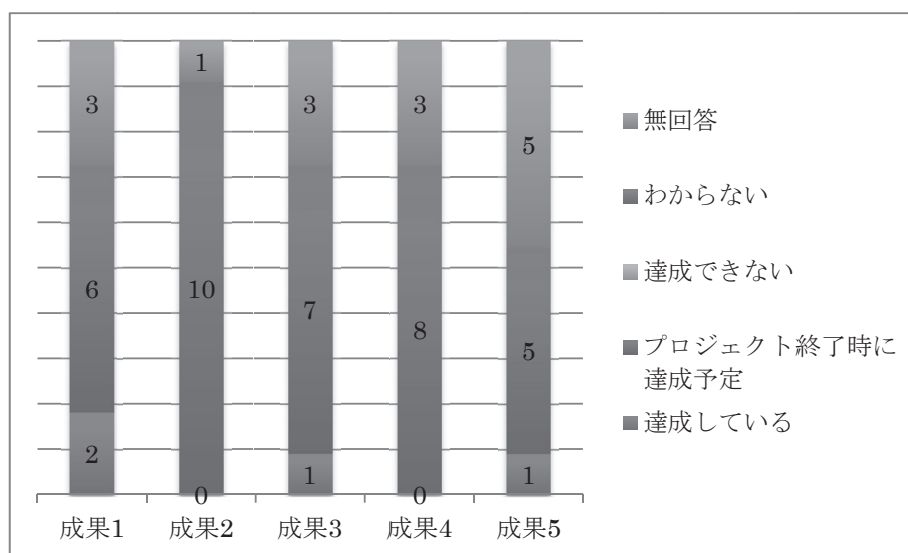
東部地域観光開発能力強化プロジェクト中間レビュー調査 質問票結果（CP向け）

1. アンケート対象者：カウンターパート 11 名、回答者 11 名

2. 実績の検証

2-1. 成果の達成度について

回答結果（数値の単位：人）



2-2. 東部地域において地域コミュニティに裨益する官民連携による持続可能な観光開発の体制が構築されていると思いますか（プロジェクト目標の達成状況）？

回答結果：はい 11 名、いいえ 0 名

回答理由：

- これまですでに、CORSAUR、MITUR、CDTs、地方自治体などの関係機関が活動をコーディネートしてきたから。
- 観光セクターに関連する中小企業もメンバーとなっている CDT を強化するため、CORSAUR 本部や CAT が技術支援を行なっているから。
- 現在、CDT とともに活動を行なっているから。
- 観光セクター企業や地方自治体の代表からなる CDT は各活動を実施するために、MITUR と各自治体や民間セクターの連携を担当しているから。
- 民間中小企業、自治体、政府機関を巻き込み、観光開発を目的とした活動を行なっているから。
- 本プロジェクトを実施するために、すでに民間セクターからのメンバーを持つ CDT と直接、活動しており、地方自治体とも連携しているため、官民連携による観光開発が構築されると思う。
- CORSAUR は 6 つの CAT を持っており、CAT が CDTs の能力強化に係る活動をコーディネートしている。CDTs は Pueblos Vivos のプログラムを各市町村に広げていく役割を担っている。

3. 実施のプロセス

3-1. プロジェクト活動は予定通り実施されていますか？

回答結果：はい7名、いいえ3名、無回答1名

プロジェクト活動への促進要因：

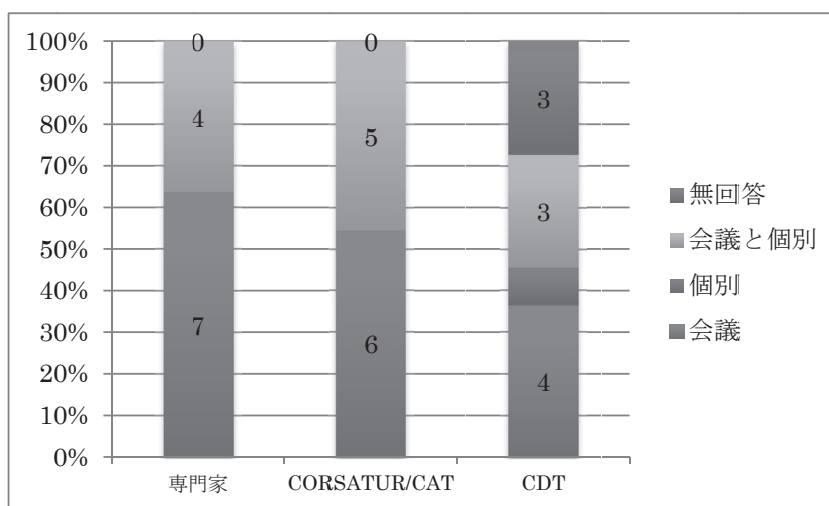
- 活動予定に従って、CORSAUR と JICA 専門家が調整しながらプロジェクト活動を実施していること。
- 各パイロット・プロジェクト内のコミュニケーション。対話を通してニーズを知る事で、プロジェクトがきちんと進行しているか、軌道修正の必要があるか確認することができている。

阻害要因：

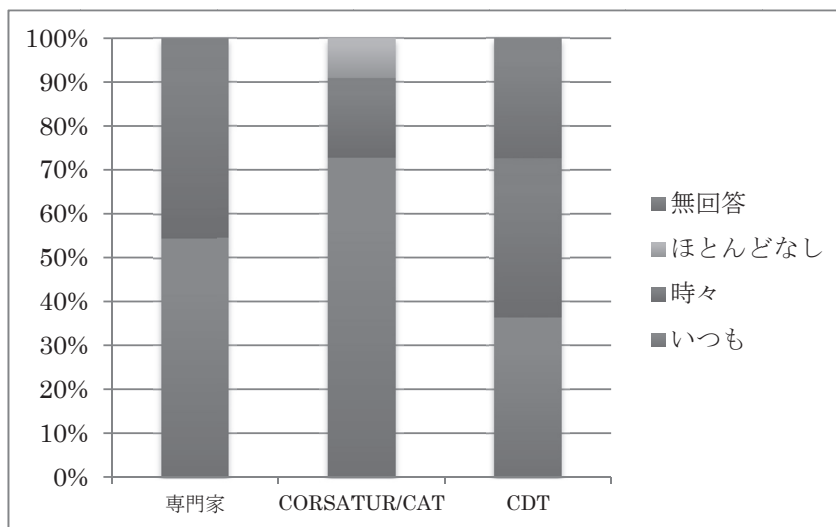
- MEGATEC ラウニオン校の学生の経験や知識不足で、教材開発に時間を要した。
- 観光地図の配付が遅れていること。

3-2. プロジェクト関係者間のコミュニケーションについて

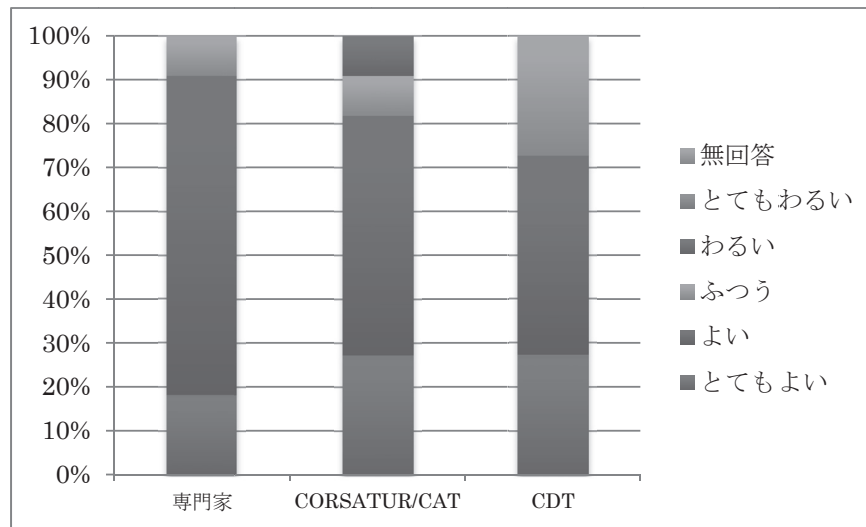
【コミュニケーションの方法】



【コミュニケーションの頻度】

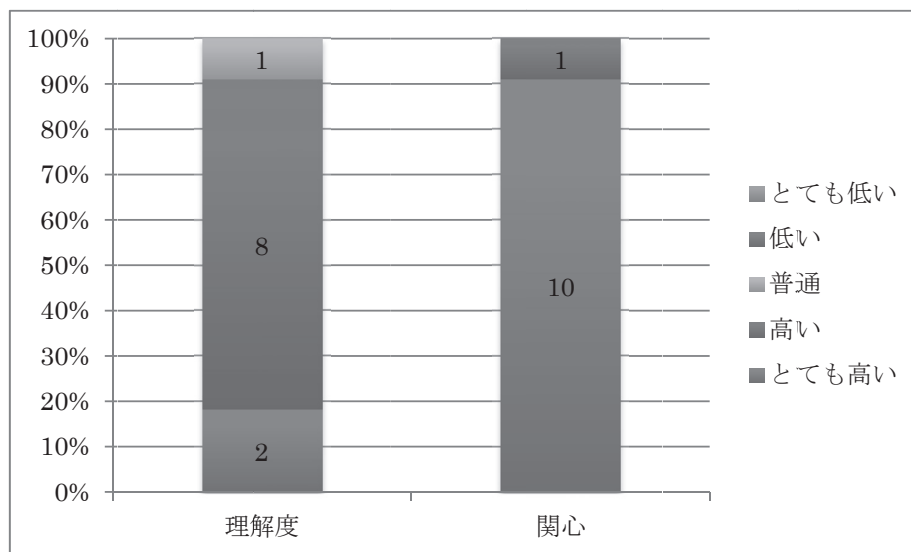


【コミュニケーションの質】



3-3. プロジェクトに対する関心と理解度

回答結果 (数値の単位 : 人)



3-4. プロジェクト実施に影響した外部条件はありましたか?

回答結果 : はい9名、いいえ1名、無回答1名

- いくつかの地方自治体で市長が交代した事。
- 選挙の結果により、いくつかの自治体の市長が変わったこと。
- 2012年に実施された地方自治体選挙により、自治体政府が変わったことで、CDTメンバーの交代やCDTの再編成が行なわれたこと。
- 選挙による劇的なCDTメンバーの交代はないが、新しい地方自治体の政権はプロジェクトのことを知らないこと。

4. DAC5 項目

4-1. 妥当性

4-1-1. 東部地域において、観光開発のニーズがありますか?

回答結果：はい 11 名、いいえ 0 名

回答理由：

- 港を最大限に利用した、東部地域への継続的な訪問が可能であるから。
- 地理的条件（ホンジュラスとの国境地域やフォンセカ湾を利用したニカラグアへのアクセス）、近代的なラウニオン港などの強みを活かした観光開発が可能だから。
- プロジェクトを実施している地域は自然資源や文化が豊富な地域であり、これらを活かした観光開発を通して、この地域に経済的な持続性をもたらすと思うから。
- プロジェクトの地域は自然の観光資源の高いポテンシャルで知られており、このプロジェクトによって東部地域の雇用創出や貧困削減につながると思う。
- 東部地域には観光地としてオファーできる豊かな市場があるから。
- 東部地域は自然資源も人材も豊富であるが、富の分配が均等である地域ではない。観光はエルサルバドル国における、経済、社会、文化、環境の危機に対応する手段であり、東部地域は観光のポテンシャルを持つ地域の一つである。
- 観光において高いポテンシャルを持っている地域だから（特に、多様な自然資源や各地方自治体のレベルなど）
- 自然資源や自然の魅力は大きなポテンシャルである。また、国境を接する地域であるから。
- フォンセカ湾連合地域の各エリアでニーズが確認されているから。
- 港があること、フォンセカ湾のツアー、コンチャグアの火山、湖など多くの観光地となる資源があるから。
- プロジェクトの地域は自然資源や文化資源（海岸、島々、火山、湖など）が豊富であるが、観光地として開拓されていない。観光開発を通して、この地域の経済的な持続性を保つ事ができると思う。

4-1-2. MITUR/CORSATUR や観光委員会は観光開発の能力強化が必要ですか?

回答結果：はい 11 名、いいえ 0 名

回答理由：

- 違う地域の観光モデルを知る事は、CDT の能力を高め、地域開発戦略を立てることにつながるから。
- CORSATUR による技術支援で CDT は強化され、そのことがプロジェクトの継続性を保つから。
- 各 CDT は自分たちの地域を開発し、観光商品としてオファーするためには能力強化が必要。
- 競争力をつけるまで、現在実施しているプログラムを維持していくことは重要だから。
- エルサルバドルでは、まだ観光は新しい分野なので、関連しているアクターをどのように強化していくかなど多くの知識が不足しているから。
- CDT は自分たちの活動を達成させるために、さらなる強化を目指しているから。
- 観光開発の目的を達成させるためには、観光産業の関係者がこの活動に従事することが重要である。また、良い観光開発は、政治や宗教と切り離して活動する事を理解させなければならない。

4-1-3. プロジェクトのアプローチは、観光開発能力強化のために適切だと思いますか?

回答結果：はい 11 名、いいえ 0 名

回答理由：

- プロジェクトのアプローチは地域観光資源を再認識させ、各市におけるニーズを把握することができているから。また、パイロット・プロジェクトの実施は、共通の目的のもと、CDT と地方自治体の連携を生み出した。
- 各地域のニーズを把握した研修を実施しているから。
- 子ども達にも教育をすることは、観光開発の持続性に貢献するものだと思うから。
- 違うパイロット・プロジェクトの実施は観光開発に大きく貢献すると思うから。
- パイロット・プロジェクトの実施を通して、フォンセカ湾地域の観光開発の能力は強化されていると思うから。

4-2. 有効性

4-2-1. プロジェクト終了時にプロジェクト目標は達成すると思いますか?

回答結果：はい 8 名、いいえ 2 名、無回答 1 名

- 観光産業において基礎的な知識だと思う観光文化に関する研修が足りないと思う。
- 80%は達成できる可能性がある（パイロット・プロジェクトを実施している市は達成しつつある）が、第 2 フェーズを実施することも悪いアイデアでない。

4-2-2. 成果が産出された結果、プロジェクト目標が達成されると思いますか?

回答結果：はい 11 名、いいえ 0 名

4-2-3. プロジェクト目標達成の阻害要因または貢献要因はありますか?

回答結果：はい 9 名、いいえ 1 名、無回答：1 名

貢献要因：

- 関係者の高い関心や観光開発への熱意。また、観光自然資源の高いポテンシャルも活動を活発にさせている基礎となっている。
- 専門家チームとその専門性
- CDT、CORSATUR、JICA 専門家による共同作業
- 既にあった人材の活用、与えられた責任を果たそうとする熱意

阻害要因：

- あるパイロット・プロジェクトでは、専門家と CP のコミュニケーションが効率的に行なわれていないこと。
- 地方自治体政府の交代（市長の交代）
- いくつかのパイロット・プロジェクトでは、専門家と CP のコミュニケーションが効率的に行なわれていないこと。

- パイロット・プロジェクトの利益を直接受けている市は13市全てではないこと。
- 選挙による地方政権が変わったこと。
- いくつかの市役所では観光に対する関心やモチベーションが低いこと。
- 地方選挙の結果により、政権が変わったこと。

4-3. 効率性

4-3-1. エルサルバドル側による投入は、成果を達成する上で適切だと思いますか？

回答結果：はい11名、いいえ0名

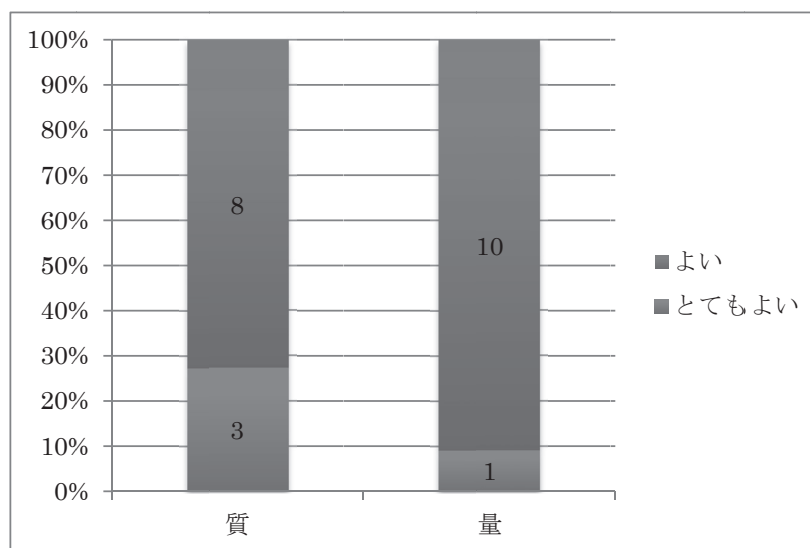
回答理由：

- プロジェクトに従事している技術者は経験や知識もあり、それらを各活動に活かしているから。
- CORSATUR が提供できる人材や時間を適切に投入している。
- エルサルバドル側の CP は東部地域の人たちの気質をよく理解している。
- 各パイロット・プロジェクトにその専門性を持った CP を CORSATUR 側から配置しているから。
- 以前から技術支援を行なっていたので、エルサルバドル側はその地域のことを知っているから。
- エルサルバドル国の経済やプロジェクトに従事している人々（=CDT メンバーやその他地域住民）の経済状況を考慮すると、プロジェクトへ良い投入をしていると思う。

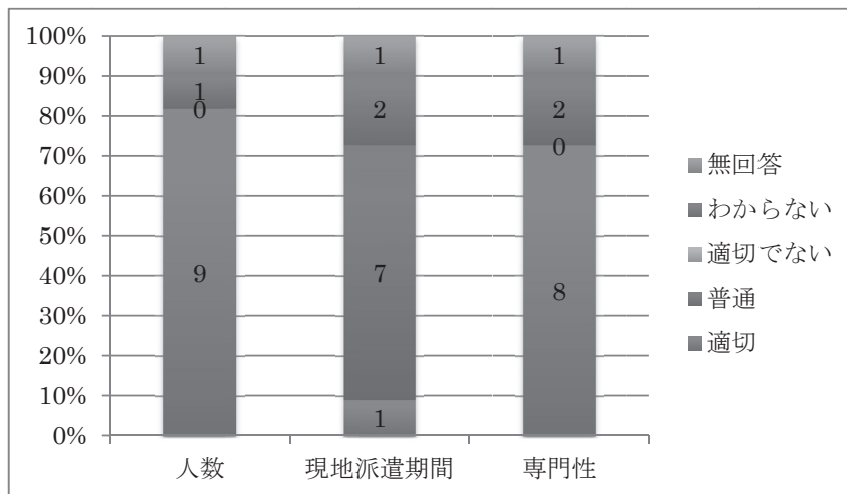
4-3-2. プロジェクトによる投入は、成果を達成する上で適切だと思いますか？

回答結果：はい11名、いいえ0名

【プロジェクトで供与された機材について】



【専門家について】



- プロジェクト活動にもっと従事するために、専門家の現地派遣を長くしたほうがよい。
- 専門家の人数は適切だと思うが、もっと長い時間エルサルバドルで活動してほしいと思う。
- 専門家の人数と専門性は成果の達成に貢献していると思うが、専門家がもっと長い期間エルサルバドルに滞在した方がよいと思う。
- 専門家の人数や専門性は適切だと思うが、プロジェクト期間中はずっと滞在して欲しい。CDTのエンパワーメントのためにはもっと彼らと一緒に活動する時間が必要で、専門家の技術支援を継続的にしてほしい。

4-4. インパクト

4-4-1. 将来、地域特有の資源を活かしたコミュニティツーリズムが確立されると思いますか? (上位目標)

回答結果：はい10名、いいえ0名、無回答1名

回答理由：

- 地域特有の資源を活かしたコミュニティツーリズムは、パイロット・プロジェクトとしてすでに確立されつつあるから。
- MEGATEC ラユニオン校と CORSATUR が教育プログラム（観光環境教育）の協定を結んだこと。
- 各コミュニティがそれぞれの役割を担い、各活動を実施していけば、目標は達成できるだろう。
- ビジネスプランの策定を考慮した、戦略計画や連携活動を補強しなければならない。
- 資源のポテンシャルを明確に定義し、それに基づき資源開発の活動を決めていくこと。
- マングローブツアーや島巡りツアーなど、地域の特性を活かしたコミュニティツーリズムがパイロット・プロジェクトを通して、確立されると思う。

4-4-2. プロジェクトの実施により、上位目標以外の正負のインパクトはありましたか?

回答結果：はい5名、いいえ0名、無回答6名

正のインパクトの例：

- 地域企業への能力強化
- 短期間で観光開発の効果をみる事ができていること。
- パイロット・プロジェクトを実施している CDT がエンパワーメントされたこと。

負のインパクトの例：

- パイロット・プロジェクトを実施できなかった CDT に対して、(全 CDT がパイロット・プロジェクトを実施するという) 間違った期待を与えてしまった可能性があること。

4-4-3. プロジェクトの実施により、ジェンダー、民族、社会的階層で違うインパクトが発生しましたか？

回答結果：はい4名、いいえ4名、無回答3名

インパクトの例：

- リーダーシップ研修で観光の認識や観光の役割を知ることができた。
- 現在、男女が均等に参加しており、このことはジェンダー平等に貢献していると。また、違うインパクトがあっても、同じ目標を持っていれば、最終的に一つの行動となる。

4-5. 自立発展性

4-5-3. MITUR/CORSATUR は観光委員会への支援は継続することはできますか？

回答結果：はい11名、いいえ0名

回答理由：

- 観光委員会の支援体制として、地域運営部の年間運営計画があり、そのなかに CDT 強化ための活動がふくまれている（例えば、研修、観光セクター企業の交流会など）。
- ビジネスプランの作成、企業運営、広告などの研修や技術支援
- CORSATUR や MITUR はプロジェクト策定や実施を通して、CDT を支援していく。
- 年間活動計画には、CDT 強化のための活動が含まれている。
- CORSATUR は CDTs を対象とした年間計画を策定している。
- CDTs に技術支援を提供する CAT が東部地域にある。

4-5-4. 観光委員会はプロジェクト活動を通して身につけた技術（PP や研修）を続けることができると
思いますか？

回答結果：はい9名、いいえ1名、無回答1名

観光委員会の長所：

- 東部地域内の企業と自治体のコーディネーション
- これまで行なってきた活動（現状調査、研修、パイロット・プロジェクトの実施）
- プロジェクトの実施により、CDT の継続性も習得している。また、将来の活動のために、マニユア

ルも作成している。

改善点：

- 観光地としてのオファーが強化されるために、各 CDT がエンパワーメントされなければならない。
- 一定期の期間で輪番する組合なので、各委員会のメンバーの個々の能力は様々である。
- CDT は身につけた技術を続けることができると思うが、そうなるにはまだ時間が必要であるから、第 2 フェーズを考慮する事は重要である。

4-5-5. 社会的弱者や環境への配慮不足により、持続性を妨げる可能性はありませんか？

回答結果：はい 3 名、いいえ 8 名

- 現在は政府が東部地域観光開発へ意気込みを見せているが、それが消滅する可能性がある。
- 残念な事に、いくつかの地方自治体は観光産業を重要視していない。

1. アンケート回答者：12 の観光委員会 (CDT)

2. CDT の活動について

2-3. CORSATUR からの支援や協力はありますか？ 回答結果：はい10CDT、いいえ1CDT

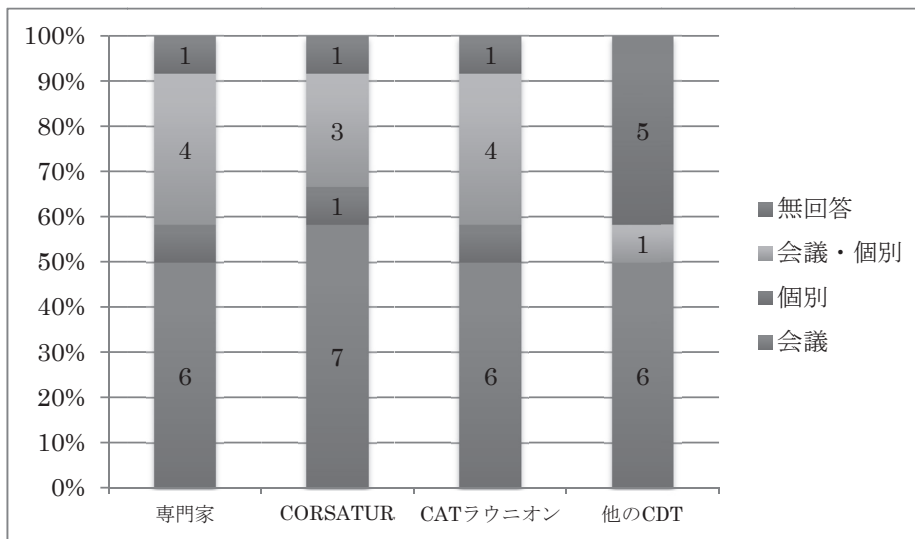
CAT ラウニオンからの支援や協力はありますか？ 回答結果：はい11CDT、いいえ0

支援の具体例

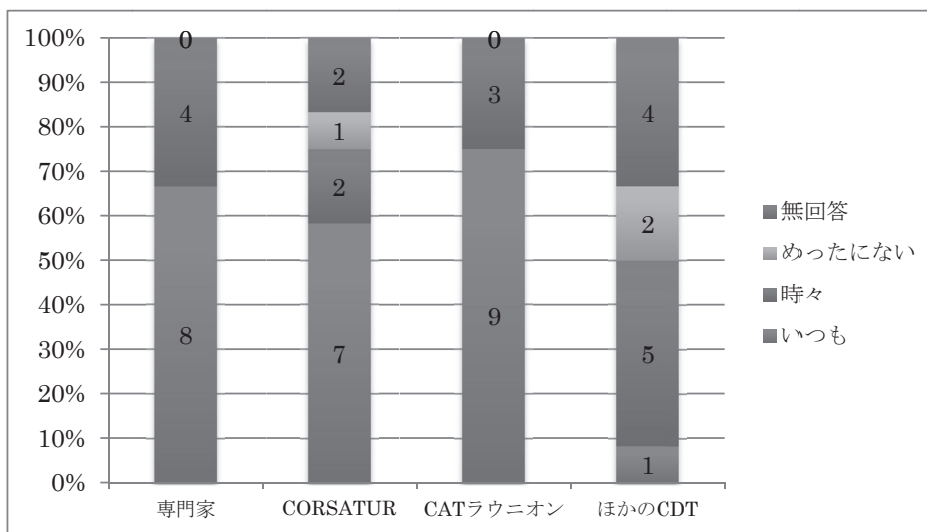
- CAT による技術支援
- 観光にかんする研修

3. 実施のプロセス

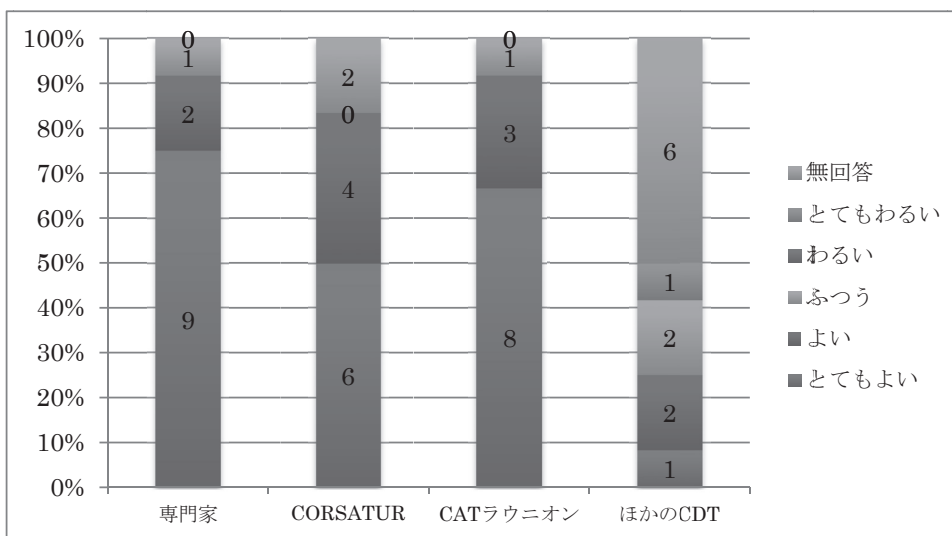
【コミュニケーションの方法】



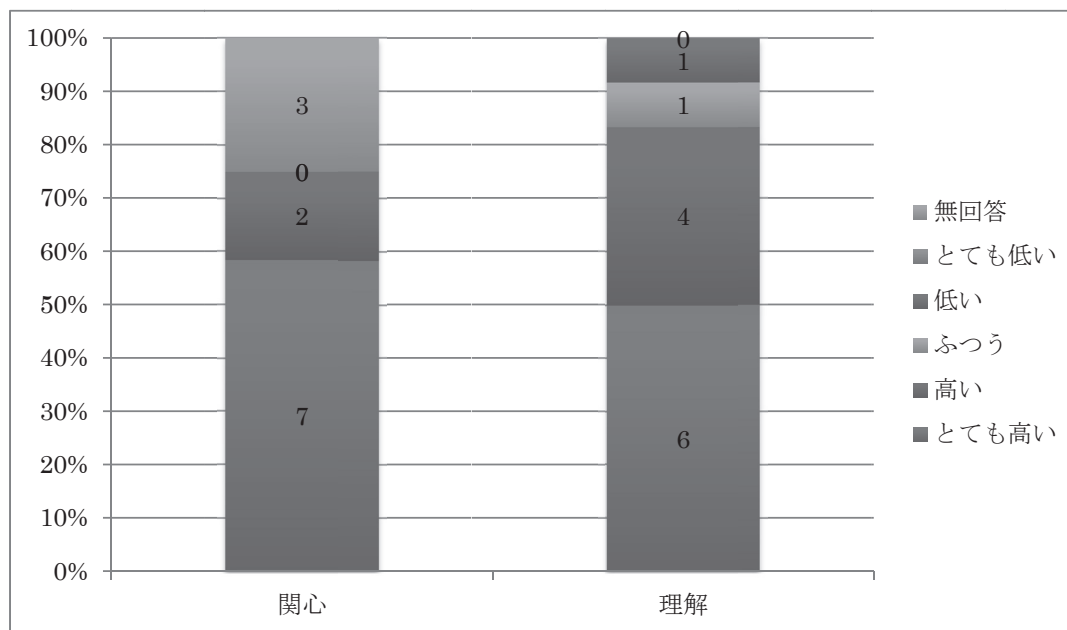
【コミュニケーションの頻度】



【コミュニケーションの質】



3-2. プロジェクトに対する関心と理解度



4. DAC5 項目

4-1. あなたの CDT 地域において、観光開発のニーズがありますか?

回答結果：はい 12CDT、いいえ 0

回答理由：

- （観光地として）活用できる自然資源を持っているから。
- コンチャグアは観光資源となりうる自然資源を持っているから（例えば、火山や海岸など）。

- 観光地として開拓できるような美しい地域（自然が多い地域）があるから。
- 歴史的な街なので、観光地としてのポテンシャルはあると思うから。
- 美しい自然資源を活かした観光開発が可能だと思うから。
- 観光開発を通じて無気力な自治体を活性化させることができると思うから。
- 地域の経済を強化するためには観光開発へのニーズは高いから。

4-2. 東部地域において地域コミュニティに裨益する官民連携による持続可能な観光開発の体制が構築されていると思いますか（プロジェクト目標の達成状況）？

回答結果：はい7CDT、いいえ4CDT、無回答1

- 役場からの支援があるが、零細企業のいくつかは観光に興味がない。
- 民間セクターやNGOは継続性があるが、自治体はそうでない。

4-3. プロジェクトの実施により、正負のインパクトはありましたか？

回答結果：はい9CDT、いいえ1CDT、無回答2CDT

正のインパクト：

- プロジェクトの知識が身に付き、自信がついたこと。
- 自分たちの街の環境保全について考えるようになった。
- 研修（起業）を活かして、何人かの女性たちがNGOから資金援助を得たこと。
- 観光客を受け入れることで、海岸やマングローブ地帯をきれいに清掃するようになったこと。

4-4. ジェンダー、民族、社会的階層の違いによる異なったインパクトが生じましたか？

回答結果：はい8CDT、いいえ2CDT、無回答2CDT

4-5. 観光委員会はプロジェクト活動を通して身につけた技術（PPや研修）を続けることができると思っていますか？

回答結果：はい10CDT、いいえ0、無回答2CDT

- 研修やパイロット・プロジェクトを通して、委員会を持続させる能力を身につける事ができた。

4-6. 社会的弱者や環境への配慮不足により、持続性を妨げる可能性はありませんか？

回答結果：はい2CDT、いいえ8CDT、無回答2CDT

- 商品の資材、販売方法、広報にかけられる資金が不足している。

5. 面談議事録

1. (プロジェクト専門家) アレハンドラ・ソリージャ女史

日時	2012年6月12日 10:00～10:30
場所	CAT La Union
協力者	アレハンドラ・ソリージャ (プロジェクト専門家)
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田 (評価分析) 三島 (通訳)

【パイロット・プロジェクトについて】

24. PPは各CDTを強化するために必要である。

(観光地図について)

- 毎週木曜日の地域CDT会議で、ラウニオン、コンチャグア、サンタロサの代表が集まって、足並みをそろえながら、進めている。
- 観光地図プロジェクトに関する問題点はCORSATURのCPがなかなか印刷の許可を出してくれなかったこと(3ヶ月以上待った)。最終的に、CORSATUR局長経由で観光地図担当のCPに頼んで、なんとか許可がおり、現在地図を印刷中。しかし、地図担当CPはCORSATUR局長に直接頼んだことをよく思っていない。(→アレハンドラさんの意見では、このまま待っていたらいつまで地図は出来上がらなかつたと思うとのこと)
- CORSATURの観光地図CPは東部地域で行われた観光地図作成の集まりはもちろんだが、サンサルバドル市内で地図のデザイナー会社との会合をセッティングしても、そのCPは来なかつたらしい。

【CDTについて】

- (コンチャグアの場合) 特別なテーマがあるときに集まる。例えば、地図作成の時は週1回の頻度で集まっていた。小さな町なので、すぐに集められる。
- (ラウニオンの場合) 毎週木曜午後4時に会議(委員会のメンバーがほぼ全員が集まる)。土曜のフェリアや地図の活動をしている。
- コンチャグアとラウニオンは積極的かつ自発的に活動中だと思う。
- (サンタロサの場合) 市長が権力を握っている。これまで一緒に働いていた委員長が1ヶ月前にやめたばかり→新市長と旧市長は政党が真逆のため、メンバー全員が交代する可能性が高い(地域CDTに出席しているメンバーをなんとか残留させてほしいと依頼したとのこと)。ただ、政治的な対立が激しく、新市長は旧市長の息がかかった人なるべく切りたらしい。
- CDTの弱点: そもそもCDTメンバーはCORSATURが選んだ人(自発的でメンバーになった

のではない)。メンバーは何をしていいかわからない→だから、PPは必要。

- CDT マニュアルを地域 CDT (CDT ラウニオン、サンタロサ、コンチャグア) とコラボして、作成中。

2. MEGATEC ラウニオン校

日時	2012 年 6 月 12 日 (火) 13:30~14:30
場所	MEGATEC ラウニオン
協力者	観光学科 Sr. Enoc Rubio (観光学科長)
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田 (評価分析) 三島 (通訳) JICA プロジェクトチーム 藤田 (総括)

【プロジェクトとの連携内容】

- 観光環境教育とマングローブツアーのパイロット・プロジェクトに協力している。
(マングローブツアー)
- 研究ツアー (tour del estudio と表現) として、MEGATEC の学生に参加させた。学生に課題を与えて、観光資源を発掘させる研究ツアーを実施。また、海岸沿いでのフェスティバルも開催した。これらの活動は CDT インティプカと協力して実施した。
(観光環境教育)
- 観光環境教育の教材開発を学生主体で作成。作成した教材に対して、MITUR/CORSATUR からのアドバイスがあり、その後教師やプロジェクトチームのカルロスの補助を受けながら、完成させた。
- 18 人の学生グループが教材作成に参加。2012 年 3 月から作業を開始した。週 1 回、2 時間程度の会合を開いていた。基本的に金曜日の朝 (授業開始前午前 7 時半から)、集合していたが、土曜日 (終日) 作業することもあった。
- 6 月 15 日に第 1 回を実施。合計 6 回の授業があり、3 回目までが授業 (座学)。それ以降は実践やアクションプランの作成といった参加型の授業となる。グループには 18 人の学生がいるが、授業を実施するのは 9 人の予定。
- このプロジェクトが終了する時はセレモニーを実施し、参加者 (学生も教師も) には感謝状 (diploma de reconocimiento) をあげる予定。

【プロジェクトへの参加意義】

- このプロジェクトを通して、社会貢献活動 (proyeccion social と表現) を行うことができる。

MEGATEC はこれまでも、地方自治体などから支援をもらい、研修や座談会？（スペイン語で charla : おしゃべりの意味）を行ってきた。

- このプロジェクトで得た手法で、ほかの学校やほかの地域にも普及できるようにしたい。そのためには、地方自治体や学校の協力を得ることが必要である。また、指導者の育成（formacion de formadores）も行ないたい。

【東部地域の観光開発ニーズ】

- 東部地域には、魅力的な観光スポット（マングローブ、火山、島などの天然資源）がたくさんあるが、その開発方法を知らないため、観光開発のニーズはある。
- また、観光客＝海外からの観光客という認識が一般的である（エルサルバドル全体で）。しかし、国内の観光客に対する観光をもっと活性化させる必要があると思う。

【プロジェクトへの提案事項】

- いろいろな日本人専門家が MEGATEC に来たため、誰と打ち合わせしてよいかわからず、混乱した。しかし、現在はカルロス・エスピノサ（プロジェクト・アシスタント）で定着している。
- 日本人専門家による観光開発の研修を、MEGATEC の学生向けにして欲しい。

3. CONAMYPE（中小企業委員会）

日時	2012 年 6 月 12 日（火） 15:30~16:15
場所	CONAMYPE（サンミゲル市）
協力者	Ms. Marisol Chavez de Serrano, Tecnica de Servicios Empresariales（企業サービス技術支援担当）
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析） 三島（通訳） JICA プロジェクトチーム 藤田（総括）

【プロジェクトの連携内容】

- インティプカの CDT 法人化支援と研修を行っている。
（CDT 法人化の現状）
- 政府により提出書類の承認はおきているが、次のステップである公証人による登録は高額な資金（1000US ドルと言っていた）が必要である。このため、INSACOP という団体の法人化を支援する公的機関を通じた登録を行うようにしている。
- インティプカにある青年会議所と CDT を最終的に合体し、民間企業に将来的にしたい。

(研修)

- 観光客へのサービスに関する研修を実施しているが、現在は休止（市長が変わったため、その影響で）。しかし、先週会議が行われ、研修の再開が決定した。これからまた、詳しい計画がなされる。
- 赤十字とコラボして、人名救急やファーストエイドに関する研修も実施した。この発案はカルロス・エスピノサ（プロジェクト・アシスタント）で、CONAMPYE が赤十字に研修を申請した。

【プロジェクト参加の意義】

- インティプカは観光資源や人材資源など、魅力的なものが多い。これらを活用できることはとても重要。
- 青年団の青年たちは高卒であるが、起業家である。多くの青年たちが、学業を続けたいが、お金がないために起業している。起業後はお金を貯めるという明確な目標があるので、青年たちはやる気になっている。この青年団を取りまとめている人物が CDT インティプカのメンバー（青年団結成時から携わっているらしい）。

【東部地域の観光開発ニーズ】

- 東部地域全体に観光開発のニーズはあると思う。例えば、エル・カルメンにある湖などは観光地としてポテンシャルがあるが、インフラ整備が必要である。エル・カルメンの新しい市長も、観光に力を入れていきたい意思がある。

4. (プロジェクト専門家) 砂田氏

日時	2012年6月13日 9:00～10:00
場所	CAT ラウニオン
協力者	砂田雅道専門家（人材育成）
質問者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析）

【研修に関して】

- CDT や地域住民むけの研修担当。
- 問題分析を1年目に実施。資源調査、目的分析、問題分析を行う。
- 2年次の再調査で、研修と PP を検討し、研修内容を決定。ニーズ調査に基づいて、実施する市を決定した。→しかし、ほかの街からの参加を拒否するのは避けたかったので、近隣の街からも参加を可能にした。
- 研修費用はプロジェクト費用。しかし、民芸品の研修では材料は手持ちしてもらう（例え

ば、ヒカロや水葦)。招待された街の参加者は自費で交通費を出している。

- 砂田さんが不在時は、研修の準備を行う→研修前のミーティング。研修参加予定者への招待状を送る。研修実施のロジスティクスも担当（研修場所の予約とか）。
- 起業セミナー参加者の成功例：セミナー後、サンホセ CDT のメンバーが自主的にほかの住民に教えた（セミナーで学んだことを）。その後、アメリカ公的団体（FOMILENIO）に申請書（セミナーで学んだ資金調達申請方法と似ていた）を提出して、25 件中 8 件が承認されたため、商売道具を購入する資金を得ることができた。
- サンホセは市役所がとても協力的。起業セミナーも市が交通費を出した。
- 民芸品は日常生活で使えるもの、お土産になりそうなもの（軽量とか）を作る。民芸品のコースは修了書を出す。
- 複数回の研修で全参加の参加者は少ない→研修前に 2 日間あるとアナウンスするが、なかなか難しい。CDT の力量不足も要因の一つの可能性もある。
- 水葦の研修修了者 6 人全員が収入を得ることができるようになった（エルカルメン）
- 貝の民芸品研修の修了者はまだ販売できる技術まで伴っていない（砂田さんが知っているのは 1 人だけ）。→さらなる強化のため、再研修を実施（2 回の予定）。
- ヒカロの民芸品研修。コンチャグアは元々民芸品を作って売っていた。研修修了生が研修を通して学んだものを販売している。
- 毎回の研修時に参加者のリストを作成している（基本的に講師が出席者リストを担当している）。

5. CEDEMYPE（中小企業開発専門センター）

日時	2012 年 6 月 13 日 11:00～11:45
場所	CEDEMYPE, Centro Especializado de Desarrollo de la Mediana y Pequeña Empresa（中小企業開発専門センター）
協力者	Lic.Carlos Enrique Salmeron, CEDEMYPE ディレクター Lic. Lilian Maryori Moreno, 企業相談士（Asesora Empresarial）
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析） 三島（通訳） JICA プロジェクトチーム 藤田（総括）

【プロジェクトとの連携活動】

- コンチャグア・ラウニオン・サンタロサデリマ・パサキナの CDT と連携して、活動（観光

<p>地図プロジェクト)を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光地図を作成する過程で、観光関連の零細企業が自分の業種を identify することができるようになった。また、自分のビジネスがどこにあるか、どのレベルまで発展できるようになるかを企業者が把握できるようになった→このことは観光開発の助けにもなると思うと。 ● CEDEMYPE としても、プロジェクト活動に参加することはとても重要な意味を持っている。この地域でポテンシャルの高い観光地に焦点があたっていること（観光によって地域全体の収入増加が見込まれる）やプロジェクトチームや CAT などがとても熱心であったことも、活動を受け入れやすさに貢献している。 ● CEDEMYPE は、観光に関連する零細企業がどこに、どれくらいあるのかを把握するように努力している。センターとして、これらの企業を強化、促進していくことが使命である。 ● プロジェクトや CAT は観光スピリットを、CEDEMYPE は企業家としてのスピリットを企業に伝えることができると思う。
<p>【東部地域での観光ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この地域は観光地としての高いポテンシャルを持っている。例えば、山や海岸線、湖などの自然資源がたくさんある。ただ、場所によっては自然保護もインフラ整備もできていない場所があるため、観光開発への課題もある。
<p>【インパクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 零細企業の人たちのモチベーションが以前よりもあがっていると思う。以前は地域住民の一人という認識でしかなかったが、今では観光に携わる一員という意識がある。その例として、観光に関する情報を提供してほしいと言われるようになった。
<p>【インティプカ CDT の法人化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CONAMPYE が非営利団体（CDT）の法人化を支援し、CEDEMYPE は青年グループと CDT を合体させた民間企業設立を支援している。 ● CEDEMYPE は青年グループ向けに企業設立研修を実施中（市長が変わって一時中断されたが、市長からの理解も得られたので、再開される）。研修で教えるプロセスに従えば、企業として利益が出るようになるとのこと。
<p>【提案事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CDT ごとに活動レベルが違うので、その状況を把握することが大切。それぞれの状況に基づいたフォローアップ活動は大事であると思う（例えば、コンチャグア CDT は活発だが、サンタロサやパサキナは活動がそれほど活発ではない等）。

6. インティプカ市役所

日時	2012年6月13日 14:00～14:30
場所	インティプカ市役所
協力者	市議会議員の3人（市長との面会を予定していたが、市長は不在だった） Mr. Jose Rolando Martinez Z. Mr. Jose Armando C. Mr. Jose Portillo
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析） 三島（通訳）

【インティプカでの観光ニーズ】

- プロジェクト開始前から観光開発に関する計画は話し合いがなされていた。また、マングローブや野生動物の保護に関する計画も話合われていた。
- インティプカにある自然資源を使った観光開発は大切だと思う。

【今後の展望】

- 新しい市長になって日が浅いため、プロジェクトによる具体的なインパクトはわからない。しかし、市長も市議会も観光開発の重要性は理解しており、引き続きプロジェクト活動を支援していきたい。
- そのためにも、これまで行われてきた活動を知る必要があるので、市役所につとめているCDTメンバーによるプレゼンなどの機会を設けるように調整したい。
- また、プロジェクトが作成している文書なども共有してもらえるとありがたい。

7. インティプカ：民芸品研修

日時	2012年6月13日 15:00～16:00
場所	インティプカ市役所
協力者	民芸品（貝）の研修参加者10人
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析） 三島（通訳）

※昨年実施された研修のフォローアップとして、2日間実施。商品として販売するには更なる研修が必要とされたため、実施された。

【研修参加のきっかけ】

- 面白そうだった。これまでは製パンや縫製の研修はあったが、貝を使ったものは初めてだったので、挑戦したいと思ったから参加した。
- 収入につながる技術を身につけたいと思ったから。また、もともと手仕事が好きであるから。
- (高校生の参加者) 学校では教えてもらえるものではないので、興味を持った。

【研修参加によるインパクト】

- まだ販売するまでに至っていないので、収入が増えたということはない(研修で作成したものは各自で持ち帰っているとのこと)。しかし、周りの人がこのような研修に参加していることを知っているので、「いつから販売するのか」と聞いてくるようになった。
- 先日の市長選挙の際も、販売先を紹介してあげると言ってきた候補者関係者もいた(実際は実現していないとのこと)。→ 選挙運動に使われるほど、注目度があると思う。
- 「インティブカ製」の民芸品を作り、販売するという目標ができた。

【研修を継続できるモチベーション】

- 家庭の仕事もこなしながら続けることは大変であるが、きちんと販売され、収入につながることで、継続している。
- 「販売する」という目標があるから続けたいと思っている。

【将来的なビジョン】

- 販売できる技術を身につけ、販売すること。その後、ほかの住民にもこの技術を教えていきたい。
- 高校生や卒業生などの若者も経理や広報などで参加してもらえるようになれば、若者の仕事も増えるのではないかと思う。

【研修後について】

- 前回と今回の研修の間はほとんど参加者で集まることができなかったが、今後は集まっていきたい。
- 今回の作業が途中の参加者もいるので、各自が家でできるところまで作成し、来週に一度集まるようにしている(公的な施設である文化の家「casa de la cultura」に集合する予定である)。その後も毎週とは言わずに、定期的に会合を開きたい。

8. サンタロサデリマ市役所

日時	2012年6月14日 9:30~10:00
場所	サンタロサデリマ市役所

協力者	Sr. Fredy Antonio Joya, 市議会議員 Sr. Jose Alberto Canales Andrade, 市議会議員 Sr. Jose Orlando Flores Lainez, 市役所人事課長 (→過去に MEGATEC 観光学科の講師だったらしい)
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田 (評価分析) 三島 (通訳) プロジェクト専門家 藤田

<p>【観光開発ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サンタロサには自然などの観光地になるものはあるが、インフラ整備など不十分なところがあるため、観光開発のニーズはあると思う。
<p>【今後の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 赴任して2ヶ月なので、プロジェクトのことはよく知らない。しかし、市役所内に CDT メンバーがいるので、その人に話を聞くことができる。 ● 一昨日(6月12日)、アメリカから海事学校の船が来たので、そのイベントで CAT 職員に初めて会った。 ● 先週、CDT サンタロサの会議があり、市長を委員会の議長とする方向が固まった。CDT メンバーは再編成するけれども、過去のメンバーも残るようにする→6月18日までに CDT メンバー決定する予定。 ● 市長が交代して、前市長の時に作成された役場の文書が全てないため、情報がほとんどない。できれば、これまでのプロジェクトの活動を記録している報告書などを共有してほしい。→これに対し、藤田専門家が、CORSATUR がスペイン語版の報告書を持っているので、共有するように頼んでおくと約束した。 ● 新しい市役所としても、プロジェクトへ協力する意思は持っている。

9. CDT サンタロサデリマ

日時	2012年6月14日 11:00～13:00
場所	Obra de Dios, Santa Rosa de Lima
協力者	Ms. Rosa Miyian Beuitez, Obra de Dios (CDT メンバー) Ms. Amada Rosa Ventura de Medrama, (CDT メンバー) Ms. Leily Elizabeth Aguila Romero, (CDT メンバー) Mr. Carlos Anibal Salnaron Sorto (前 CDT サンタロサデリマ代表)

	Mr. Luis Ernesto Gomez (赤十字社次長)
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田 (評価分析) 三島 (通訳)

【サンタロサデリマの現状】

(以下は Mr.Carlos : 前 CDT 代表のコメント)

- 2004 年、サンタロサに「観光協会 (asociacion と表現)」が市役所主導で設立され、政府の非政府団体として登録された。その当時、メンバーは 25 人くらいいた。観光協会の目的はサンタロサの観光開発。月に 1 回全体会議 (asamblea general) を開き、分科会のようなものは毎週会合を行っていた。会費は一人 1 ドル (毎月) と法律で規定されているが、サンタロサの場合は会議ごとに 1 人 1 ドル回収していた。
- 「観光協会」が活動していたのは、2011 年 2 月まで。グアテマラでの第三国研修後、市役所が新たに「観光委員会 (CDT)」を設立した。グアテマラの研修は当時の市長や市役所の人などが参加し、「観光協会」のメンバーは参加していない。グアテマラで研修があることを知っていたが、いつから研修があるか誰も教えてくれなかった。CAT ラウニオンは、研修の案内をサンタロサ市役所に行なったが、当時の市長や市役所職員が「観光協会」にその案内をしなかった。
- グアテマラでの研修後、当時の市長が「観光委員会」のメンバーを招集、全体会議を開催し、新しい代表を決定した。どうやって招集メンバーを選んだかはわからないが、自分は招集されなかった。

(以下、Ms. Amada : 「観光協会」のときからのメンバーのコメント)

- 2011 年 2 月に発足した CDT のメンバーとして残留した「観光協会」のメンバーは 2~3 割程度だった。
- 観光地図は CDT メンバーが作成していった (週に 3 日集まって作業していた時期もある)。でも、以前の「観光協会」の時ほどは集合しなかった。
- 現在は CDT 崩壊状態。ただ、再編にあたり、「観光協会」のメンバーだった人にも戻ってきてほしい。

【留意点】

- JICA プロジェクトチームによれば、前代表である Mr. Carlos は、プロジェクト前半に実施したニーズ調査の時、言動がひどく (例えば、「サンタロサは観光できない汚い街」と発言)、一緒に活動することに不安を覚えたとのこと。

→なので、今回の CDT の話をすべて真に受けないほうがいいかも。

- 今回のインタビュー前に、プロジェクト専門家がワークショップを開催したが、それに Mr. Carlos が来たのでびっくりしたとのこと。新市長になったのを機に、観光委員会の委員長に返り咲きたいみたいという見解をアレハンドラさんは持っている。
- サンタロサの場合、新市長が昔の市長を法的に訴えている状態なので、昔の市長お抱えであった CDT メンバーはなかなか表に出たくない状態（自分たちへの仕打ちが怖いから？らしい）。

10. パサキナ市役所

日時	2012年6月14日 15:00～16:00
場所	パサキナ市役所
協力者	Mr. Nelson Urias Roque 市長 Mr. Juan de la Guz Ventura Romero 次官 (Secretario de la Municipalidad)
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田 (評価分析) 三島 (通訳) プロジェクト専門家 藤田

【パサキナの観光開発ニーズ】

- 自然資源（ホンジュラスとの国境、マングローブ、川など）があり、観光客をもっと来てほしいし、魅力的な街にしたい。しかし、資金が足りない。
- 街の中心(市役所の前にある広場のこと)で、毎週土曜日にフェアを実施している (Sabado Alegre という名前)。民芸品などの販売が主。3年前に始めた。

【地方自治体としての取り組み】

- 市役所の職員2名と市議会議員2名が観光担当となっている (Tourismo en accion と表現)。市の政策と観光を結びつけるように働きかけているとのこと。

【プロジェクトに関して】

- まだ、具体的なインパクトは見えない。しかし、JICA とプロジェクトを実施していることは多くの人を知っており、一生懸命取り組んでいるので、その成果をとっても期待している。
(補足：パサキナでの PP が本格的に動き出すのは明日 6月15日。学校での観光環境教育のキックオフ)
- MEGATEC の学生も訪問するようになり、お互いをよく知るようになった。
- 今後も引き続き、プロジェクト活動に協力していきたい。必要なものは市役所でも提供していきたい。

11. (プロジェクト専門家) 石川氏

日時	2012年6月14日 18:00～18:30
場所	CAT ラウニオン
協力者	石川晴久専門家(観光開発2)
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田(評価分析)

【標識プロジェクトについて】

- CORSATUR 本部には計画(スペイン語で planificacion) 課があり、その課が「観光標識」を含む観光整備を担当している。CORSATUR は全国に観光地案内の標識を設置したが、必要な場所(例えば、地元の人が標識にしたい観光地など)に標識がない、地名のスペルミス、設置許可を自治体から得ずに設置したため、自治体から撤去されるなどの問題もあった。
- PP ではまず、CDT とどの観光地の標識を作るかを検討した(現状調査や資源調査をもとに、更なる分析を行い、標識の場所を選んだ)。その後、CORSATUR が持っている観光標識に関するマニュアルに従いつつ、国際的なもの(例えば、英語表記をする)のデザインとなるようにした。
- 現在は材料調達を行うと同時に、各役場への設置許可を得る活動を行っている。材料は木材とスチールがあり、木材の調達を行った。
- 標識の場所やデザインについて話合う段階ではほとんどの CDT メンバーが参加していた。集まりは月に 1～2 回程度。毎回、出席者リストと議事録(会合のテーマとその成果)を取っている。→CAT ラウニオンの職員がリストと議事録を作成。
- これまではほぼ予定通り。しかし、選挙前(2012年2月)ころに役場への設置許可に関する活動を予定していたが、選挙後に申請した方がいいと判断(CAT ラウニオン)したため、現在活動している。
- モニタリングは活動計画を CDT 代表者と CAT ラウニオンとで共有し、進捗状況を確認している。評価方法はまだ未定。
- CORSATUR の CP がなかなかラウニオンに来られないことは、不便と思うことがある。基本的にメールでコミュニケーションを取っている(標識の進捗状況を写真で報告している)。

12. パサキナ CDT

日時	2012年6月15日 12:45～13:30
場所	Centro Escolar de Pierda Blanca (パサキナの PP 対象校)

協力者	<p>CDT パサキナメンバー</p> <p>Mr. Pedro Ángel Castro, CDT パサキナ代表</p> <p>Ms. Xiomara E. Alvarez</p> <p>Ms. Zulianita Mirinela Reyes</p> <p>Ms. Ivania Janeth Rodriguez Canazes</p> <p>Ms. Alma Zulema Velásquez Rivera</p> <p>Ms. Daysi Amparo Rivera de Cruz</p> <p>Ms. Malgarito Ecobar</p> <p>Ms. Aida Concepción Tucios</p>
出席者	<p>ビンコーインターナショナル(株) 福田 (評価分析)</p> <p>三島 (通訳)</p>
備考	<p>観光環境教育プロジェクトのキックオフイベント後に実施。</p>

<p>【CDT パサキナについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在のメンバーは 2010 年から (今の市長になってから)。15 人くらいが CDT メンバーである。 ● CDT の会議は通常 15 日に 1 度で行うが、必要な場合はもっと集まる (例えば、新しいプロジェクトの実施や 2 年に 1 度の委員会の再編成にかかる作業など)。 ● 会費の徴収はこれまでもしていないし、これからもするつもりはない。これまでは、会議開催などの必要な経費は市長が出してくれていた。しかし、今後は小口現金を作る必要があると思う。これは会費の徴収ではなく、委員会として何かを販売し、それで得た収入をあてたい。
<p>【パイロットプロジェクト (以下、PP) について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PP は CORSATUR や CAT ラウニオンを通じて、運営管理に携わっている。対象となった学校への訪問・パイロット・プロジェクトの説明をプロジェクトの専門家と行った。 ● 指導内容の項目も話し合いで決定した (CDT、CAT ラウニオン、MEGATEC が参加)。また、教材作成を手伝うことも時々あった (あるメンバーは 4 回ほど、MEGATEC を訪問したとのこと)。 ● 学校での活動が始まったので、これからはオブザーバーとして参加する予定である。
<p>【インパクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PP 対象校の校長先生は積極的で、パサキナにある全学校の校長会議で PP のことをプレゼンした。このことで、多くの学校が PP に興味を持ち、パサキナ市役所に問い合わせ

せもあった。

【備考】

- CDT パサキナのインタビュー前に、「観光環境教育」プロジェクト開始のキックオフイベントが小学校で実施された。このキックオフイベントに、CDT パサキナのメンバーが「来賓」として参加していた。
- インタビューに答えていた人はリーダー格の女性（Ms.Aida）のみ。他のメンバーのコメントを遮る、批判する等、彼女が実質的な CDT の代表である印象を受けた。

13. 地域 CDT

日時	2012 年 6 月 15 日 14:30～16:30
場所	CAT ラウニオン
協力者	Mr. Raúl Guilberto Castro, 地域 CDT 代表 Ms. Leily Elizabeth Aguilar, CDT サンタロサデリマ Ms. Amada Rosa Vetora, CDT サンタロサデリマ Mr. Alexander Romero Saravia, CDT コンチャグア代表 Mr. Luis Alberto Díaz, CDT ラウニオン代表 Mr. Atruro Pacheco, CDT ラウニオン Mr. Josué Salmón Torres, CDT ラウニオン Mr. Asdroval Noé Gonzalez, CDT ラウニオン Ms. Sonia Aguilera, CDT ラウニオン
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析） 三島（通訳）

【地域 CDT について】

- 地域 CDT は 13 市を対象としているが、強化されてない CDT もある。13 市はフォンセカ湾の影響を受けている地域（ASIGOLFO 地域）に所在する市のこと。
- 地域 CDT は 2009 年に法律的に設立されたが、ほとんど活動をしていなかった。設立のきっかけは ASIGOLFO のプロジェクト（13 市の市長が集まって実施）で、当時の議長はある街の村長だった。しかし、設立後すぐに行なわれた選挙に負け、村長の職を辞したため、議長がいなくなり、それ以降地域 CDT は活動がされなかった。
- 現在の地域 CDT は 2010 年終わりから活動を始めた。市長が議長になると、前のようになる（つまり、市長が変わると活動がストップする）ので民間の人だけで集まるようにした。

- 地域開発、特に東部地域の観光開発（それぞれの地域の資源を使った）をしている。例えば、アメリカ海事学校の観光客に紹介したように、東部地域の観光としてオファーできる商品を開発している。
- 2週間に1度、木曜日に会合をしている。地域でのニーズを全員でシェアすることを始めた。今回の海事学校の観光客に紹介した観光パッケージで得た利益の一部は地域 CDT と CDT ラウニオンに寄付される。合計で 194 パッケージが売れ、各パッケージから 1 ドルが CDT ラウニオンに、1 ドルが地域 CDT に寄付される。なので、194 ドルの収入となる。
- 海事学校の観光客への準備は 4 日間（紹介するパッケージの選定や観光パッケージ紹介リーフレットの作成など）。CEPA（ラウニオン港を管理している機関）が会合を収集し、観光客をアテンドする役割分担をし、分科会のようなものを作った。
- 地域 CDT で話われたことは、各 CDT に共有している。HP、シャツ、マグカップなどあり。これらの作成資金は企業による寄付。その時のニーズに応じて、できる人が寄付している。しかし、資金不足で出来なかったプロジェクトもある。
- 実は、海軍学校の船がくる前は地域 CDT のメンバーですら、観光を期待していなかった。しかし海軍学校の観光客が来て、観光による効果があると分かり、多くの人が観光について興味を持つようになった。
- 地域 CDT の弱みは、市によっては観光としてオファーできるものが完成されていないこと。その完成に地域 CDT として支援していかなければならない。この過程には住民の参加が必要。活動的に動いていない CDT を活性化させることは大事。
- 海軍学校の船の来航がきっかけになっている（いろいろな開始の日となるだろう）。前は企業の人も、役場も、地域 CDT を信用してくれていなかった。我々が活動できるということを見せていかなければならない。
- 地域 CDT の強みは既に団結力があり、役所に依存していないこと。すでに、法律的なステータスも持っている。
- JICA のプロジェクトは組織作りに助けになった。観光省もこちらを向いてくれるようになった（これまで、忘れられた存在であった）。

【地域 CDT の展望や資金調達】

- これからの展望：作成された地図を再販してくために、資金集めている（広告スペースを地図に載せて、収入を得る。今のところ、広告スペースは全て埋まっている）→アレハンドラさんと地域 CDT で話し合い、この方法を決めた。広告スペースの金額：1 地域のみ 80 ドル、2 地域 120 ドル、3 地域 150 ドル。
- 地図第 1 版は CDT メンバーのみが広告スペースを買っていたが、第 2 版からはメンバー以

外の人にもスペースを売る（メンバーが優先されるけど）。

【CDT ラウニオンについて】

- CDT ラウニオンはラウニオンで行うイベントを管轄している。ラウニオンの CDT は 18 の零細企業で構成している。毎週木曜に会議を開き、毎週末にイベントを行っている。この目的は、文化紹介と観光を通じた所得を得るようにするため。観光名所にすることも目的。観光するための起点にしたい。4ヶ月前からこの週末イベントを始めた。

【プロジェクトのインパクト】

- 内戦後、ようやく観光へ注目できるようになった。標識、地図、研修などの支援は観光を促進する上で大事である。PP は CDT にとって良かった（強化されていると思う）。
- 観光へ目を向けてくれたことは大きい。
- CDT として組織になることができた。少しずつ、我々が欲しかったものが手に入ってきた（例えば、他の国での観光開発の情報）。
- 研修旅行（グアテマラ）で、投資が必要だということも分かった（例えば、旅行客の移動手段とか）。まねをするつもりはないが、ほかの国の観光開発を見ていきたい。
- 民芸品の研修では、値段の付け方や販売方法も教えてもらった。
- 観光は地域開発のために必要。利益を受けるのは地域の人であるし、主役は地域の人たちであると思う。

14. （プロジェクト専門家）秋山綾氏

日時	2012年6月15日 17:00～
場所	CAT ラウニオン
協力者	秋山綾専門家（観光プロモーション）
出席者	ビンコーインターナショナル(株) 福田（評価分析）

- PP を直接担当していない。観光地図と島巡りツアーのパイロット・プロジェクトをお手伝いしている。今回の現地派遣では、観光環境教育プロジェクトも手伝っている。
- 観光プロモーションのパイロット・プロジェクトもリストにあったが、最終的に残っていない。しかし、島巡りツアーには PR が必要なので、島巡りツアーのプロモーションを行っている。

（観光地図）

- 観光地図は CDT と作成。地図に載せる観光資源を話し合い、記載するものを決める。アレハンドラさんがファシリテーターをすることもあるが、ラウニオンの CDT メンバーがファ

シリテーターをすることもあった。

- 観光地図プロジェクトの CORSATUR の CP とアレハンドラ（プロジェクト専門家）の確執は両方悪いのではないかと思う。CP の動きが悪かったので、現場でどんどん進めていったら、ドラフトの段階で CP が問題を多く指摘してきた（CP は阻害された感があったのかもしれない）。
- 初版は 2000 部ずつ印刷予定。配布方法：CDT メンバー向けにワークショップ（地図の内容を復習、地図を使ったガイド方法など）を実施し、それに参加した人のところで配布するようにする。
- 配布状況の確認方法は、残りの部数を CAT に月 1 で報告するようにしていく。
- 地図作製に関する会議ごとに参加者リスト、議事録を作成（アレハンドラさんが作成）。
- PP の評価方法についてはまだ具体的な方法を決めていない。

（島巡りツアー）

- インフラ未整備（栈橋がない）→船がつけない。CORSATUR と各 CDT と一緒に、栈橋の場所、見晴し台の設置場所の調査をして、素案が固まってきた段階。
- 今あるものを利用した観光商品を開発する（例えば、はとバスツアーなどのパッケージもの）のが目的。現段階では、パッケージものとオーダーメイド型のツアーを検討中。
- 各市の CDT でも集まり、一同に会することもある（CAT ラウニオンに）。2 回以上は全員で集合している。また、地域 CDT の会議の時に話合うこともある。
- 参加者リストと議事録を取っている（→専門家が作成）。
- 大学向けに特別講演（観光に関して）を実施。それにあわせて、パッケージツアーを作り、PR した。→500 人くらいの学生と教師がこの講演に参加。20 人の観光客が実際にきた。
- 現在、ツアーとして形になってはいるものの、まだ商品としては不備がある（交通手段、サービスなど）ので、そこを改善していく必要がある。

（教育：パサキナ CDT）

- CDT としての参加はまだ少ない。→会議を収集しても、2 人（リーダー格の女性とその彼氏？）しか来ていなかった。ほかのメンバーは用事があるなどで、来ていなかったかと思っていたが（秋山さんが）、実はそのリーダー格の女性が、ほかのメンバーに会議のことを連絡していなかったことが今日発覚した。CDT をどのように巻き込んでいくかは今後の課題。
- パサキナの PP は学校側の参加がとても積極的。今日のキックオフイベントでは学校側が準備を進めていった。イベント後のランチの予算も、プロジェクトが資金を出したが、学校側の負担が大きかった。